

前期計画の検証と課題

●第5次留萌市総合計画の構成

基本構想（平成19年度～28年度）

基本計画前期計画
（平成19年度～23年度）

基本計画後期計画
（平成24年度～28年度）

前期計画の5年間を評価・検証し、
後期計画に反映しています。

総合計画には、左の図にあるように、留萌市が目指すべき将来像や施策の方向性を示した「基本構想」があり、構想に示された将来像を実現するため、各分野の施策方針を体系的に示した「基本計画」があります。

今月号では、基本計画前期計画（左の図の黒い部分）の22項目の戦略プログラムのうち、平成24年度の重点的な取り組みを中心とした10項目の戦略プログラムの検証と課題をご紹介します。



連載特集

第5次留萌市 総合計画基本計画 前期計画の検証と課題

市では現在、今年4月から始まる第5次留萌市総合計画基本計画の後期計画（平成24年度から28年度まで）の策定作業を進めています。

今月号では、後期計画策定に向けて行われた前期計画（平成19年度から23年度まで）の取り組み結果とその課題をご紹介します。

地域産業の育成と支援

■雇用・労働



前期計画の取り組み結果

南留萌地域通年雇用促進協議会の実施する各種事業で、季節労働者の通年雇用化が図られてきているほか、国の緊急雇用対策事業により、雇用・就労の機会が創出されました。

現状と課題

国の緊急雇用対策事業による雇用創出が図られる一方で、その後継続した雇用とならないことが増えているほか、若年者の就職が非常に厳しく、都市部流出に歯止めをかけることができていません。

■地場産品・水産加工



前期計画の取り組み結果

留萌水産物加工協同組合が実施する生菌分析事業を支援しているほか、外国人研修生の宿泊施設として北海道所有の遊休施設を活用しました。

現状と課題

消費者ニーズに合った商品開発で地元資源を活用する場合、安定的に原料を確保できる資源が存在しないことが課題となっています。

都市機能の充実

■道路・橋りょう



前期計画の取り組み結果

道路整備は、交通量の多い路線や維持補修経費がかさんでいる路線など緊急度の高い路線を優先して整備し、橋りょうは黄金橋の改修が終了し、南九条橋の補修・耐震補強を進めました。

現状と課題

市道は幹線道路、生活道路ともに老朽化が進んでおり、計画的な整備、災害時の避難路の確保、維持補修が必要です。橋りょうは、今後も計画的な維持補修や改築が必要です。

第5次留萌市 総合計画とは

第5次留萌市総合計画（平成19年度～28年度）とは、市の将来のビジョンを描き、その実現に向けてまちづくりの方向性などを総合的にまとめたもので、施策や事業はこの計画に基づいて進められています。

基本計画とは

基本計画とは、基本構想で掲げたテーマ「誇りと満足を目指す みなとまち留萌」の実現に向けて、市民と行政が共に目指す目標を明らかにするとともに、目標を達成するための取り組みの方向を体系的に示し、総合的な展開を図ることを目的として策定したもので、社会経済情勢の変化などを踏まえ見直しができるように、前・後期の5年ごとの計画となっています。

後期計画策定への流れ

市では後期計画策定に向けて、

後期計画の方向性は

広報4月号に掲載

広報4月号では、「第5次留萌市総合計画基本計画 後期計画の方向性と目指す姿」として、今月号に掲載しています。10項目の戦略プログラムとそれに基づく11の施策が、前期計画の検証を受けて、後期計画ではどのように展開されていくのかをご紹介します。

市民満足度アンケートや各統計数値に基づく成果指標を踏まえ、各担当所管で前期計画の検証を行い、後期計画の各施策の方向性と計画最終年である平成28年に目指す姿を設定し、後期計画の素案を作成しました。

この素案をもとに、市民検討会議を設置して意見交換を重ねたほか、パブリックコメントの実施、さらには、市議会の第5次留萌市総合計画後期計画に関する特別委員会からさまざまな意見をいただきました。

市では、市民の皆さんや市議会からいただいた貴重な意見を反映させ、後期計画を策定する作業を進めています。

市民生活の基盤づくり

■ごみ・一般廃棄物



前期計画の取り組み結果

ごみ処理手数料の改定により、市民の皆さんのリサイクル意識が高まり、ごみ量が減少したほか、美・サイクル館の維持管理業務を総合的な内容に変更し、経費の削減を図りました。

現状と課題

適正な施設運営経費の確保のため、ごみ収集及び処理経費の抑制を検討しているほか、広域ごみ処理の開始に合わせて、収集ごみの区分変更に合わせて体制を検討しています。

災害に強い地域づくり

■防災



前期計画の取り組み結果

共助の基本組織である「自主防災組織」の設置を促進し、140町内会中34町内会で設置されたほか、地域と市役所の架け橋となる「防災連絡員」の配置を推進し、129町内会で配置されています。

現状と課題

町内会活動が高齢化などにより一部の方に限られてきていることや、形式的な組織という懸念から、「自主防災組織」が設置されていない町内会が多い現状の中、組織の重要性への理解と設置数の増加が必要です。

子どもの育成と支援

■子ども未来・少子化対策



前期計画の取り組み結果

るもい次世代育成支援行動計画を策定し、子どもと家庭が健やかに育つことのできる環境を整備し、地域の母子の成長や生活環境の向上に努めました。

現状と課題

少子化、核家族化の進行、就労環境の変化など、子育てを取り巻く環境が厳しさを増す中、社会全体で子どもの育成や子育てを支援していく仕組みが重要です。

学校教育の充実

■学校給食



前期計画の取り組み結果

栄養バランスに十分配慮した献立や、地元食材の利用に努めるほか、給食だよりやリーフレットを全保護者へ配布するなど情報の発信に努めました。

現状と課題

地元食材の購入に関しては、単価や数量の確保、使用できる時期などの課題があり、多く使用できていない状況です。

前期計画全22項目の戦略プログラムの検証と課題は、市ホームページ (<http://www.e-rumoi.jp/>) に掲載されていますので、ご覧ください。 お問い合わせ先 市・企画調整課 ☎42・1809

地域コミュニティの育成と支援

■町内会



前期計画の取り組み結果

一部の町内会では、「高齢者見守り隊」や「地域通貨の普及」など、町内会が主体となり独自の地域活動を実践しました。

現状と課題

町内会役員の高齢化ややり手の不足、町内会加入率がなかなか向上しないほか、町内会運営費補助を定率で削減しているため、各町内会から削減撤回の意見が増えています。

健康の維持と増進

■健康・保健予防



前期計画の取り組み結果

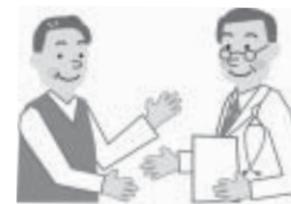
がん検診の一部で無料クーポンを配布したほか、妊婦健診の助成の拡大、生活習慣病などの知識普及の充実を図り、新たな健康創出活動の拠点として、るもい健康の駅を整備しました。

現状と課題

健康いきいきサポーターなどの協働により、市民自らが健康づくりに取り組む環境整備を図る必要があるほか、地域の健康課題の把握と解決に向けた調査、研究が必要です。

安心できる地域医療の充実

■地域医療



前期計画の取り組み結果

市立病院による二次救急医療体制の重要性の認識が高まり、医療圏構成市町村の支援につながったほか、道北ドクターヘリで救急医療体制がさらに充実しました。

現状と課題

市民の皆さんがいつでも適切な医療を受けられるように、医師、看護師を含む医療スタッフの安定的確保が不可欠です。

地域福祉の充実

■高齢者



前期計画の取り組み結果

要介護状態になる可能性が高い高齢者を早期に発見し、適切な指導・助言を行うとともに、介護予防事業に参加を促し、要介護状態になることを予防するため、特定高齢者の把握に努めました。

現状と課題

今後も特定高齢者の把握に努め、介護予防事業への参加者を増やす必要があるほか、高齢者の見守りネットワーク構築の必要性について、関係団体や行政などが共通認識を持ち、役割を整理する必要があります。